

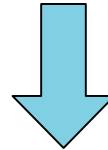
戦略ソフトウェア報告

2004/03/01

井上稲葉稲邑研究室
修士一年 佐藤 顕治

前回

- Robo-Oneを見てきた



- Robo-Oneに出る？



- 稲葉先生「それより大会を自分たちで作る」

新しいロボットコンテスト

- 既存のロボコンとの差別化
- その競技をロボットで行う意義
 - 見て面白いこと

既存のロボコン

- NHKロボコン(球技)
- ロボカップ(サッカー)
 - ロボワン(格闘技)
- レスキューロボコン(負性地踏破)
 - レース

なぜロボットレースが行われていないか

- 行われている(いた)
 - マウスの迷路脱出
 - ライントレース
- 脚型・二足歩行型では？
 - 遅い
 - 作成・制御が困難



- 障害物競走
- 技術的進歩

障害物競走

- コース上に障害がある
 - 車輪型より多脚型・二足歩行型が適しているといわれている という説の検証
 - 人間生活環境にも車輪で乗り越えることが困難な障害物が多い 環境適合
 - 結果の予測がしにくくなる 娯楽性
- ロボット同士の妨害を許す
 - 動的障害物
 - Robo-Oneのロボットがそのまま参加できる？

ルール案

- 障害物攻略重視型
 - タイムアタック
 - コースがレースごとに変化すべき
 - コースをどのように決めるか
- 相互妨害重視型
 - チェックポイントを一位で通過するとボールが手に入る
 - ボールを持った状態でラインを二回超えるとゴール
 - 倒されるとボールは奪われる
 - ボールを持っていない選手同士の格闘は禁止
 - 2ダウンか3ダウンで失格